



次々にだんごを掘割に投げ入れる参加者

きれいになれば いいですね

掘割にEM泥だんご 2000 個を投入

掘割の水質をきれいにしようと、市と「よみがえる有明海ネットワーク・ちくご」は4月23日、伝習館高校野球グラウンド北の掘割およそ200メートルに、EM泥だんご2000個を投入しました。投入されたEM泥だんごは、掘割のヘドロの減少と水質の浄化に役立つとされます。この日は会のメンバーと市職員などおよそ10人が参加。野球ボールほどの大きさのEM泥だんごを次々と掘割に投げ入れました。

よーくねらって、それっ

市体育協会 部対抗ペタンク大会

市体育協会は会員同士の交流を深めようと4月24日、市民三橋グラウンドでペタンク大会を開催しました。ペタンクはフランス発祥の球技で、目標に球を投げ合って、相手より目標に近づけることで得点を競うゲームです。大会には56チーム220人が参加。ゲームが始まると、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人が球の行方に注目し、狙い通りに転がると大きな歓声があがりました。



▲上手く子どもが投げると大人たちもびっくり

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

万が一に備えてしっかり準備

垂見小学校「防犯教室」



さすまたを使っての対応方法を警察官が指導

垂見小学校は5月2日、校内に不審者が侵入したことを想定した防犯教室を行いました。不審者にふんした柳川警察署の警察官が教室に侵入すると不審者侵入を知らせる放送が全校に流れ、先生の誘導で児童たちは運動場に素早く避難しました。その後、運動場では警察官が児童たちに、不審者に声を掛けられたときは防犯ブザーを鳴らして助けをよぶことが大切だと指導。先生たちにはさすまたを使って、警察が来るまでの時間を稼ぐ方法を教えました。

異文化を学び、高め合おう

デンパサール市が柳川を訪問

インドネシア共和国デンパサール市の視察団が4月28日に来日し、5月4日に柳川市を訪問しました。視察団は日本の教育と文化を学ぶことを目的に、同市の副市長や副議長、教育関係者など35人で構成。福岡県庁や県内の幼稚園、高校、大学を視察しました。一行を出迎えた金子市長が柳川の歴史や文化、イベントなどについて説明。一行は熱心に耳を傾けていました。また視察団からはお礼として、魔よけのお面やデンパサールの伝統工芸品などが市長に手渡されました。



デンパサールと柳川、それぞれの文化を学び合った

白秋と團伊玖磨の関わりを紹介

北原白秋と團伊玖磨展

北原白秋記念館で「北原白秋と團伊玖磨展」が開催中です。これは5月22日に市民会館で行われる、團が作曲した合唱組曲『筑後川』を歌うコンサートにあわせて催されているもの。白秋と團の関わりについて70点もの写真や資料パネルで紹介するもので、5月23日まで展示されます。大型連休中には神戸や京都など県外から訪れた観光客が同館に来場。偉大な詩人と作曲家の関わりがわかるパネルを、興味深く鑑賞していました。



写真や資料パネルが所せましと展示されている

俳句

堀岸に座布団並べ舟舞台

谷 祥子(柳町)

◆今月の入選作品課題「舟芝居(舟舞台)」

【句評】舟舞台は土地柄だけに面白い句がたくさん寄せられ選別の困るほどでした。中には季節が十分に動いていないものもありましたが、これは時間をかけて字づいていくほかにありません。今月の祥子さんの句、上五の堀岸が効きました。これにより舟舞台を待つ夫婦像が描かれ和やかさくみとれるのです。

- 船舞台舞ってみたいわ下手なりに
 - 舟舞台彩り添える笛太鼓
 - 見得切るやヨイシヨで動く舟舞台
 - 内堀や柳の中の舟舞台
 - 六艘の舟の上なり舟舞台
 - 押されつつされど観てる舟芝居
 - 殿の蔵見ゆる堀割り舟舞台
 - 白秋の里ゆつくりと舟舞台
 - 舟芝居亡き白秋も見て楽し
 - 人の波押しされてどく舟舞台
 - 舟舞台上り下るや人もまた
 - 小さき子の肩ぐるまされ舟舞台
 - 舟舞台笛や太鼓に酔いしれて
 - 舟舞台流れに添うて囃子見る
 - きびしさやたのしさもあり舟舞台
 - 幼な児を背に見たりし舟舞台
 - 堀割に揺れるおはやし舟舞台
 - 舟舞台お堀の上のライトアップ
 - 上りくだり囃子に浮かれ舟舞台
- ◆選者の句
- 星明り水棹に払ひ舟芝居
- 鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。6月の課題は「薔薇」「麦刈」です。入選作品は6月15日号に掲載します。

●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、5月31日(※必着)までにお送りください。